



すみれ

題字 北 浦 晃 氏

第 14 号
平成 10 年 3 月 31 日
発行所 文化女子大学室蘭会
発行 短期大学同窓会
室蘭市高砂町 3 丁目 11-50
印刷所 高砂印刷株式会社

”21世紀にむけて”

同窓会会長 下澤和枝



一九九八年が明けました。二十世紀も、残り二年。まさしく世紀末。昨年暮から世の中が騒がしい。今までの常識がくずれ去り、銀行はつぶれる事がないという神

話さなくすれ、我々の身近な拓銀が破たんして、毎日のように日本中いや世界中にその名の響かない日はない。また特に荒れる中学生の事が毎日のように流れ、何か変だ、どうなっているのだろうと心を痛める事が多い。以前の荒れ方とまたちよと違ってきていると

供に過大な期待をかけて口うるさく注意する事が誘因になってきている。親は常にこれでいいの、かどうなのか試行錯誤し、子供の気持をつかみたい、知りたいと努力はしているが、子供とは仲々かみ合わない事も多い。かつては自分も子供であってその気持がわかっていたはずが、いざ親になるとずい分子供には無理な期待をかけている事に気づく。それも20才も過ぎれば、まあこんなものかこんな程度なのかとあきらめもつづくが、小中学生にかけては、まだ親の力が及ぶのではないかと思う。子供にとつては迷惑な話だと思ふ。すべて体験した今、三年前に成人した息子を一人の人間として見られる様になったのです。今だからこ

ていただく事を必要としています。何卒、趣旨をご理解の上、宣しくお願い致します。今年度は、6期生、10期生の卒業生の方々にお知らせ致します。会費は郵便局に備えつけの振込用紙をお使いになつて、郵便振替にて納入下さいませようお願いします。口座番号等は次の通りです。口座番号 0275016116739 加入者名(口座名) 文化女子大学室蘭短期大学同窓会

会計報告

平成8年4月～平成9年3月末までの会計収支決算は下記の通りとなりましたので御報告いたします。

収 入	金 額	支 出	金 額
繰 越 金	14,066,542	同窓会記念品	55,620
同窓会費(保27期・教8期)	1,150,000	会報印刷代	428,995
同窓会費(過年度分)	24,000	会報等送料	184,590
利 子	43,647	宛名書、名簿作成等アルバイト	50,000
		コ ピ ー 代	3,742
		御 礼 品 代	20,000
		中村先生葬儀代	15,450
		時花籠代	14,440
		その他消耗品、切手等	
(イ) 計	15,284,189	(ロ) 計	772,837
収支差引次期繰越金 ￥14,511,352 (イ-ロ)			

同窓会では、終身会員制度をとっていなかった過年度の卒業生の方々に対し、毎年不足分の納入をお願いしております。しかし、年々住所等宛先不明の方も多いた

めか、納入される方はごく少数といたのが現状です。同窓会運営を今後も続けていく上で、同窓生一人一人が不公平なく会費を納めていただき、又多方面で御協力し併せてご記入下さい。

そ言えるのですが。未来は子供達が作るのです。20世紀は我々が育てて大きく育った世紀である。その技術革新があまりにも急激すぎたのか、大気汚染や地球温暖化又、森林伐採・資源の乱獲などあまりに多くの書を残した。21世紀に向け、我々の子や孫に少しでも多くの資源を残し、美しい地球にして手渡していきたいものである。ささやかではあるが、ゴミを少なくしたり、再利用出来るものは利用し、身近な一歩から始め21世紀につなげようではありませんか。

水芭蕉

私事を書こう。



今年四回目の寅を迎えた。まだイケるぞ。五回目は二十一世紀。きつと大丈夫。昨年私は一冊も本を読まなかった。ここ十数年私はTVのチャンネル権がなかった。娘が家を出た。息子が部屋に穩った。そして私はTV漬けの毎日。そして判った。つまらん、全くつまらん。芸の無芸人、芝居の下手な役者。若者に媚びたトレンディドラマ。トラは怒った。今年こそはと、本を積み上げる。茶の用意、菓子の用意。老眼鏡をかけ

開学三十年にあたって

主事 根本寿夫

昨年四月に菊地先生から主事という大役を引き継ぎ、今早くも一年が過ぎようとしていきます。今さらながら責任の重さを痛感しています。室蘭短大は今年で開学三十年になります。卒業生数は三千六百人に達します。当然のことですが親子二代の在学生、卒業生も何人かおられます。こうしたケースに出会うたびに、地域社会と共に歩んでき

今、改革という標語が社会のあらゆる分野で掲げられています。世界でも有数の物質的豊さを手に入れながら私達は先の見えない閉塞状態に落ち入っていると云ってよいでしょう。大学改革などはすでに十年前も前から言われており、本学としても今日を予想してそれなりの対処はしてききましたが、まだまだ足りないところのあることがわかりました。組織的な改革も自己改革抜きには考えられません。「隗より始めよ」という中国の諺があります。大きな目的を達成するには身近なことから始めよという意ですが、まず教職員それぞれが、担当科目の授業内容や授業方法の見直しをすることを通して教育力の開発に取り組むならば、相關的に学生の学習力を育む効果を生むことになりまし又それを目指して進むべきだと思ひます。

編集後記

保一期 北村啓子

2月6日からの16日間、冬期オリンピックが長野で開かれる。日本で開かれるオリンピックなのに、なぜか私は行ってみたいとは思わないのである。テレビ観戦が最高と思っている私はどんなものなのか?こんな大きなイベントを肌で感じ、この目で見ないなんて。何事にも年々おっくうになってい

お知らせ

文化女子大学

留学生ファッションショー

平成10年9月23日

蓬 嶽 殿

文大祭一般公開(第29回)

平成10年10月24日(土)・25日(日)

謹しんでご冥福をお祈りいたします。

- 近藤能成先生 享年31歳 平成九年九月ご逝去 平成5年～平成9年まで勤務
- 鈴木康夫先生 享年63歳 平成九年三月ご逝去 昭和63年～平成3年まで室蘭短大勤務 平成3年～平成9年まで文化女子大学勤務
- 難波田龍起先生 享年92歳 平成九年十一月ご逝去 昭和44年～昭和54年まで勤務
- 西田勝二先生 享年54歳 平成九年二月ご逝去 (非常勤講師) 昭和54年～平成9年まで勤務
- 市来 仲先生 享年100歳 平成九年三月ご逝去 昭和44年～昭和59年まで勤務

栄 誉 第39回学生美術全道展 堂々の入賞・入選

第39回学生美術全道展に、我々の後輩が工芸の部3名、絵画の部6名が入賞、入選しました。

今回の受賞作品は糸を染めてそれぞれの想いを織り込んだタペストリーを製作したとのことです。

入賞「北海道新聞社賞」
小沢あづささん
田口 真弓さん
阿部 典子さん

入選
そこで工芸の部で入賞、入選を果たした3人に喜びの声をうかがいました。

- ① 質問の内容は次の通りです。受賞された感想をお聞かせください。
- ② 大変だったことはどのような事でしたか。
- ③ 作品のテーマとイメージについてお聞かせください。
- ④ これからの抱負をお聞かせください。

小沢さん

① 初めての作品を出品してこのよ
うな素晴らしい賞を頂けるとは
思っていなかったので本当にう
れしかったです。

② 自分の思い通りの色に染められ
ず苦労した。限られた時間内で
仕上げるのが大変だった。

③ 「彩」女性らしさを表現し、色彩
を大切にしました。

④ 良い作品をたくさん見て、感性
をみがき自分らしい作品を作っ
ていきたい。

田口さん
① 大きな賞を頂いて驚いた。出展
できたことが短大にての忘れら
れない思い出となった。

② 糸の張りやゆるみのバランスが
むずかしかった。忍耐力のいる
作業だった。

③ 華
生き生きと輝きを持って咲いて
いる花をモチーフにしました。



左から小沢、田口、阿部

下澤 記

④ 染色織物の専門知識・技術を修
得し、伝統的な中にも個性のあ
る織物を製作していきたい。

阿部さん
① 努力が実って良かった。
② 木枠で8枚も作らなければなら
なかったため、最後の方は大変
だった。

③ 「眠り」
ほのぼのとした感じに仕上げた。
④ 織物だけでなく他の分野でも
様々な作品を作りたい。

この他、絵画の部で次の方々が入
選されました。池田理恵さん、鈴
木順子さん、蒲原みどりさん、加
藤智子さん、山本富美子さん、角
田友紀さん、本当におめでとうご
ざいます。

野本先生からメッセージを頂いて
います。「夏休みを返上して製作
した100号の大作や織り物の作品が
全員、入賞入選したことがうれし
いです。このことは、作品のレベ
ルを高く評価されたことで、これ
を励みとして次回の学生全道展で
の活躍を期待しています」

今回の受賞は同窓会としてもう
れしい限りです。これからのこ
活躍を願っています。
本当におめでとうございました。

「輝く瞳に 魅せられて」

保21期 下國 安代



「子どもが好き」という想いを
幼い頃から持ち続け、夢かない幼
稚園教諭として勤めて7年。何
もかもが初めての経験で無我夢中
で日々を過ごしてきた1年目に比
べると、少しは要領も良くなった
かな?と勝手な自己評価をしてみ
たり……

日が経ち重ねてきた経験は、自分
自身の中で力となり物事を考え、
計画を立てる参考になったりもし
ますが、保育の現場に「慣れ」は通
用しないというのが、7年経った
今の私が思うところです。

一人ひとり違う個性をもった子ど
も達との出会いの中には、新しい
発見にウキウキしたり、これでい
いのだろうか?と自問自答し悩
む自分の姿があります。子どもも
私も個性をもった一人の人間とし
て互いに刺激を与えあって成長し
ていけたら……と考えています。
子ども達の輝く瞳と、その奥に
秘められた可能性に魅せられなが
ら「慣れ」ではない「新鮮な生活を
送っていただける毎日」に感謝したい
と思います。



賢い消費者になって……

教養学科2期 小竹森路子



私は、現在、北海道教育大学
大学院にて勉強をしています。
短大を卒業後、文化女子大学家
政学部に入学生、被服管理學
を勉強しました。大学での知識
を生かすため、クリーニング会
社にて一年半仕事した後、己の
勉強不足を痛感し、再び大学へ

もどることを決意しました。
クリーニング産業は家事の社
会化にともなって発達してしま
したが、とても事故が多い産業
です。たとえば、お客様がヘア
ムースをつけてから髪を乾かさ
ないでスーツを着用し、ドライ
クリーニングに出したとしま
す。するとドライの溶剤とスー
ツの染料が化学反応をおこして
肩の部分だけ色に変色するとい
う事故が起こる可能性があります
です。こうなってしまうと事故の
原因の追及は消費者の協力なし
では難しいといえます。このよ

うな消費者サイドの過失による
事故は非常に多いのですが、大
多数の消費者はクリーニング業
者の過失だと信じ込むよう
です。
また、1995年7月から施
行されたPL法（製造物責任
法）によってメーカー側の取り
扱いに関する表示が詳しくなり
ました。責任逃れのためとし
か思えない表示も目についま
す。たとえば、カシミア混の
オーバーコートを購入したとこ
ろ、「一着を続けて着用せず
時々休ませてください。」とい
う表示がありました。PL法施
行以前では考えられない表示で
す。しかし裏を返せば、これは
たくさん着用しすぎて毛玉がで
きたらといってPL法をたてに

メーカーを訴えるという消費者
がいるとメーカーが予想してい
るのだということになります。
メーカーは目先の消費者対応
に本来のパワーをそそぐのでは
なく、品質の向上・価格の安定
化にこそ奔走すべきです。消費
者の無知なクレームはその対価
が本来あるべき所にもかかわらず、
価格の上乗せなどの形で他の消
費者に跳ね返ってくるのです。
消費者も、論理的な思考過程
を経ることができるだけの一
般知識を習得し、自らの首を締め
るような対応をメーカーにさせ
たりなどの愚行が少しでもへる
ことを祈ってやみません。皆さ
んも短大で得た自らの知識を少
しでも広められるよう、そして
賢い消費者になってください。

フォト'97 第28回文大祭より

